

若いエネルギーを
まちづくりに

4月13日、開校いらい2年目を迎えた秋田職業能力開発短期大学の入学式が行われました。1期生116人に続いて、今年は2期生138人が入学し、これで全学年がそろい、ジェット機でいえば両翼のエンジンに火が入って、本格的にテクニシャンエンジニア養成という目標に向けて力強く離陸したことになります。市にとっては、また新たな若いエネルギーが入ってきてくれたことになり、とても素晴らしいことだと感じています。

市では今、地方拠点都市地域の指定による地域整備、木造ドームでは世界最大となる大館ドームの建設、市内で2つ目の短大となる秋田桂城短大の設置、秋田県北部老人総合福祉エリアの誘致、大館能代空港の建設という5大プロジェクトの推進に全力を挙げ、新しい大館の建設を目指しているいろいろな事業に取り組んでいます。

大館は今まさに生まれ変わろうとしています。職能短大生を含めた若い人たちに、こうした大館の飛躍に向けた、変革の大きなうねりを感じ取って欲しいと思います。そして、若さあふれるエネルギーを県北の中核都市を目指す大館に注ぎ込んでください。市の明日を担う若者たちと一緒に、活力に満ちあふれたまちづくりを進めていきたいと考えています。

小 畑 元



開会のあいさつで、杉苗が成長して伐採できるようになるまでに約六十年の歳月が必要なこと、大

館ドームにはおじいさんやおばあさんたちが植えてくれた秋田杉がたくさん使われること、そして今日植えた苗が将来の大館の役に立つことを聞かされた小学生たち。汗ばむほどの好天の中、営林署の人から植え方の説明を受けて、慣れない手付きでトガを使いながら、一本一本でいねいに植え付けていました。



潤いを与えてもくれます。ふだんの生活では森林の大切さをとくく忘れがちですが、森林を守り、育て、次代に残していくのは、私たちみんなの務めです。

植えよう ふやそう 未来の緑

・第10回大館市植樹祭・

第十回大館市植樹祭が四月二十日に開催されました。今回植樹会場となったのは沼館の上堤沢地内。ちようど粗大ごみ処理場があるあたりです。

市長をはじめ、営林署や森林組合の皆さん、今年の参加校となつた川口小学校の五、六年生（八十四人）など総勢二百六十人の手で、約三十アールの山肌にも木である「秋田杉」の苗六百本が植えられました。

利用しています。年金・簡保還元融資



- ・農道整備事業（雪沢地区）
- ・花岡中学校プール建設事業

★年金の還元融資による事業

- ・下川沿保育所改築事業
- ・心身障害者居室整備資金貸付事業
- ・集落環境整備事業（真中地区簡易水道）
- ・花岡野球場建設事業
- ・医療機器整備事業（MRIほか）
- ・放射線棟増築事業（MRI室）

★簡保の還元融資による事業

- ・公営住宅建て替え事業（水門前住宅）
- ・公園新設整備事業（二ツ山総合公園、小柄沢墓地公園、釈迦内ふれあい公園、長木川河川緑地公園）
- ・道路整備事業（御成町沼館線、大館比内線、池内二井田線）
- ・消防施設整備事業（黒沢地区消防器具置き場新設）



市では、大きな事業を行う際に必要な財源を、国（郵政省など）や銀行などから借りています。五年度には、厚生年金・国民年金積立金還元融資三億八千万円、郵政省の簡易生命保険積立金還元融資三億五千三百七十万円を受けて、次の事業を進めました。